

# 高知憲法速報

No.220 2010. 3. 10

発行:高知憲法会議事務局 088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

## 陸上自衛隊第 50 普通科連隊の移駐について

### 3月2日「防衛問題セミナー」参加者の報告より

防衛省中国四国防衛局の主催で3月2日夜、香南市・のいちふれあいセンターで「防衛問題セミナー」が開かれ、約100人が参加した。

まず中村範明・中四国防衛局長が第50普通科連隊の新駐屯地の概要を述べた。それによると香南市香我美町の新駐屯地は約16haの広さの造成地に、隊舎・体育館・食堂・浴場・売店・医務室・車両整備工場・ヘリポートなどを建て、費用は96億円。隊員宿舎は香我美町JAコープ北側9千㎡の敷地に5階建て2棟が完成した。災害救助のための施設中隊も常設。グラウンドと演習場の建設は来年になる。

続いて黒田弘人・一等陸佐(第50普通科連隊長)が連隊の役割、装備、訓練の概要について述べた。装備は、軽装甲機動車・高機動車・指揮通信車・暗視装置・小銃・機関銃・対戦車誘導弾・地対空ロケット弾・野外炊飯車その他あらゆる実戦用装備を持っている。訓練の概要については、毎月1回程度、岡山の日本原、滋賀の饗庭野、北海道などの演習場で築城訓練、東富士での迫撃砲訓練などを予定しているという。しかし最も力説したのは災害救助訓練で、浮橋設置、孤立地からのヘリによる救出作戦、奈半利でのホバークラフトによる百人の上陸訓練、高知工科大学や高岡高校での一日体験入隊訓練など、市民県民に喜ばれそうな訓練についてであった。

多くの質問が出されたが、日米合同の訓練への参加については「現在のところ米軍と合同の訓練の予定はない」とし、将来の可能性については答えず、連隊幹部が合同訓練に招待されている実態にも言及しなかった。また武装した訓練を夜間も行う可能性を認めた。

会の最後に、仙頭義寛・香南市長が閉会挨拶として、「高知県は東南海大地震や津波が心配だし、外国から麻薬が流れ着いたりして物騒だが、自衛隊が来てくれて安心だし心強い。自衛隊が来てよかったと言えるようにお互いに理解し、住民との交流をしていただきたい

い」と述べた。

今回の集会は、3月24日「対面式」、3月28日「開設記念行事」に先立ち、地元住民への報告会として開催されたものであるが、根本での議論が必要だ。

## 第 50 普通科連隊の移駐に抗議する行動

3月24日、高知県危機管理部が主催して高知市高須浄化センターグラウンドで県の「受入式典」が行われます。午後には香南市で「歓迎式典」が行われます。香南市では音楽隊を先頭にした「行軍」も予定されており、その時にはジェット機やヘリコプターの飛行も予定されています。

連隊移駐に抗議する行動を、「郷土の軍事化に反対する高知県連絡会」の呼びかけで行います。

@午前10時から 高須「受入式典」会場付近で

@午後2時から 香我美町JA香我美農協前付近で

それぞれ横断幕、プラカード、ハンドマイクを準備してください

3月12日(金)街頭宣伝・グリーンロード 5時半～

3月20日(土)街頭宣伝・グリーンロード 1時半～

午後・香南市へ宣伝カーによる宣伝、スポット演説

## 郷土の軍事化に反対する高知県連絡会

2月18日、14団体で「郷土の軍事化に反対する高知県連絡会」が発足しました。2月22日に高知県知事、陸上自衛隊第14旅団、香南市長に対し申し入れを行いました。構成団体；社会民主党県本部、日本共産党県委員会、県平和運動センター、県平和委員会、県革新懇、新婦人県本部、県母連、平和な未来を考える高知の会、県退婦教、サロン金曜日、平和資料館草の家、県護憲連合、高知県労連、香南市革新懇

## ワールドピースナウ・イラク戦争反対高知県集会

この3月20日でイラク戦争開戦7周年になります。イラクでは数十万人から数百万人の市民が殺され、数百万人が難民化しています。イラク侵攻を正当化する「大量破壊兵器の存在」がウソだったことが明らかになりましたが、いまだに戦争・占領は続き、米政府はアフガニスタンへの増派を続けています。世界中のあらゆる戦争をなくすため、そして沖縄から基地をなくすため声を上げましょう。

**高知県集会**；3月19日(金)午後6時から高知市役所前集会後パレードを行います。

呼びかけ；郷土の軍事化に反対する高知県連絡会

この日の憲法会議・街頭宣伝署名行動は延期します。